



## 11月の三者相談終わる！今後の「調査書」受け渡しは…

11月1日から始まった三者相談が終わりました。進路決定に向けて、生徒の皆さんの意思とご家庭の思いが話され、有意義な時間となっていれば幸いです。主に公立高校など、今後の成績も踏まえてもう少し考えたいというご家庭もありました。また、私立高校の個別相談が今月中に予定されているご家庭もありました。今後も担任と生徒の皆さんの二者相談を行います。生徒の皆さんは、個別相談や説明会へ参加したらすぐに担任へ報告をお願いします。本日締切の12月の三者相談の予定（希望者のみ）は希望表を確認後、決定版を近日配布します。

また、三者相談時に「第2回の調査書内容確認書（緑色の用紙）」を提出していただきありがとうございました。こちらを元に、調査書を作成し、12月22日（金）に通知書として、ご家庭にお渡しします。通知書の内容を確認後、「受領書」を1月9日（火）始業式に担任へ提出してください。「受領書」をいただいた後に、担任より「私立高校へ提出する調査書（高校名を記載、厳封）」をお渡しします。※郵送出願の締めきりの早い学校へ出願される方へは、12月25日（月）26日（火）に予約制でお渡しする予定です。（詳細は後日）

## 調査書作成願いの記入と提出

10月末に配布しました「調査書作成願い（黄色の用紙）」の締め切りは、**11月17日（金）**です。私立高校の入試日程は、各校によって違います。自分が受験する私立高校の実施要項を入手し、入試日程をカレンダーに記入するなど、自分で詳細まで把握してください。特に、

- ① インターネット出願期間 ※12月1日から始まる学校があります。
- ② 願書の顔写真 ※コンピュータでアップロードするのか、印刷後、貼付けか。
- ③ 郵送による出願期間 ※インターネット出願後、1月初旬から開始が多いです。  
※何の書類を郵送するのか確認！
- ④ 試験日
- ⑤ 合格発表日・発表方法
- ⑥ 入学手続期間（併願の場合、入学金等の延納手続きの有無も）

を把握後、「調査書作成願い（黄色の書類）」に間違いのないように記入し、推薦書や中学校が作成する書類があれば赤い進路ファイルに入れて、提出してください。

## 2学期期末テストの学習は進んでいますか？

今週に入り、2学期期末テストまで2週間を切りました。10日（金）に配布されたテスト範囲（ステップアップ）を元に学習を進めていきましょう。11月27日（月）、28日（火）が期末テスト当日です。3年生のテスト範囲の勉強は、そのまま受験勉強に直結します。普段の授業で習ったことが高校入試で問われる可能性も大いにあります。だからこそ普段の授業を大切にしつつ、テストに向けて努力を続けましょう。



# 受検を制するために、試験内容の情報収集を！

さて、学校の定期テストと高校入試の違いは何でしょうか。1つ挙げるとしたら、出題範囲の広さの違いです。学校のテストは範囲が狭い分、その部分の学習内容を押さえておけば得点につながりやすくなりますが、高校入試は中学3年間で学習した全ての内容が出題範囲となります。実際の入試の過去問から「問題の傾向」を知ることは出来ます。

期末テストが終わったら、本格的に各学校の「過去問題」に取り組んでいきましょう。

北辰図書 HP より画像引用 <https://www.hokushin-t.jp/bunseki/bunseki.html>

北辰テストを展開する北辰図書（株）のHPに載っている情報を紹介します。

令和4年度に実施された「県公立高校入試」を元にした【学年別の出題数割合】や【出題形式別の出題割合】についてのデータがあります。1・2年生の学習内容から57%の内容が入試で出題されています。出題形式は、語句や文章を記述する問題が64%出題されています。北辰テストを受けた・過去問に取り組んだことがある人は、実感が湧くと思いますが、こうした情報を知っておくことが大切です。「どんな問題が出るのだろうか？」という不安な気持ちで試験に臨むのと、「こんな問題が出るんだよな」と出題傾向を理解して臨むのとではどちらがいいと思いますか？  
※上記のデータに「学校選択問題」は含まれていません。「学校選択問題」の出題割合のデータもHP上には載っているので、見たい人はHPを検索・確認してみてください。

- 選択式問題：34%  
選択肢から答えを選ぶ問題
- 作図問題：2%  
図に示して答える問題。
- 語句記述：33%  
名称等を書いて答える問題。
- 文章記述：31%  
自分の考え等を文章にまとめて答える問題。

☆課題作文（国語）や英作文をはじめとする文章記述問題は、1問あたりの配点が高めです。ここでどれだけ得点できるかが、合否に少なからず影響すると言えます。県公立入試での得点力を高めるためには、記述問題のトレーニングを重ね、「正しく書く力」・「考えて書く力」を養うことが大切です。

## 私立受験用の写真撮影について

公立高校の出願に個人写真は必要ありませんが、12月から始まる私立高校等のインターネット出願時に、個人写真が必要な学校もあります。地域の写真店やスピード写真機を利用することも可能ですが、希望する方は、12月8日（金）放課後に、入間野中学校で受験用の写真を撮影することができます。  
※基本はダウンロードカード（¥1,100-）。スマートフォンなどに画像保存できる、インターネット出願に対応したデジタルデータです。自宅やコンビニでセルフプリントも可能です。ダウンロード後はパソコンやCD等のメディアにバックアップしてください。写真はオプション（¥500-〜）。

本日、①申込書（小さいカード）②封筒（茶色）③パンフレットを全員に配布します。内容をご確認の上、希望される方は、撮影当日封筒に必要な金額を入れ、申込書と一緒に直接、業者（東京プロカラー）へお渡しください。12月15日（金）までに入間野中学校へ納品される予定です。

高校によって受験票等を印刷して写真を貼りつける場合と、画像データを出願ページ上にアップロードする場合があります。受験する高校の入試要項等を確認していただき、必要なセットを選んでください。11月30日（木）に希望者の人数を確認します。それまでにご家庭でご検討ください。

